

Renato Braz

ヘナート・ブラス
& フレンズ

& Friends

ギリエルミ・ネヴェス
Guilherme Neves

ヘナート・ブラス
Renato Braz

ボサノヴァの繊細さと
サンバの律動
現代MPBの深い表現力が

あなたの心をふるわせる

マリオ・ジル
Mario Gil

フレッチ・マルチンス
Fred Martins

2026.
10.15 Thu

ヘナート・ブラス
2026来日公演情報



<https://kinoie-event.com/>

ジルベルト・ジル、ミルトン・ナシメント、シコ・ブアルキ、エドゥアルド・グゼン、ドリ・カイミ...
ブラジル音楽界のレジェンド達も認める実力派が集う
一夜限りの音楽会 

HAKUJU HALL
19:00 開演 (18:00 開場)

会場：ハクジュホール 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5

チケットは7月15日より発売開始

指定席 S ¥9,000 (当日 ¥10,000)

指定席 A ¥8,000 (当日 ¥9,000)

自由席 ¥6,000 (当日 ¥7,000)

学生 (U22要学生証提示 自由席) ¥4,000 (当日 ¥5,000)

チケットぴあ



Kinoie
Event



Toca de
Aparecida
店頭販売のみ



制作



協力



後援



本公演について

現代ブラジル・ポピュラー音楽シーンを代表するアーティスト、ヘナート・ブラスが、信頼する3人の音楽仲間を連れて1年半振りの来日決定！各々がギター弾き語りスタイルを得意としており、ソロからデュオ、そしてフルメンバーによる美しいアンサンブルまで、友情に育まれたハーモニーを響かせます。すべての音楽ファンにお勧めです！

ヘナート・ブラス



Renato Braz / 幼少の頃より音楽に親しみ独学でドラム、パーカッション、ギターを修得。エドゥアルド・グゼンに認められグループに加入（同期にモニカ・サルマーゾ）、ネイ・マトグロッソのステージの前座を務めるなどキャリアを積む。1996年、1st『Renato Braz』でソロ・デビュー。マリオ・ジル作「Anabela」の大ヒットでその美しい歌声が注目を浴びシャープ賞を受賞。2004年サックス奏者ポール・ウィンターの全米ツアーに特別ゲストで参加、米国デビューを果たす。2014年にはジョアン・ジルベルトに捧げるアルバム『Silêncio』を発表、日本盤もリリースされ話題となった。2018年、シコ・ブアルキ、ミルトン・ナシメント、ジルベルト・ジル等MPB界のレジェンド達をゲストに招いた50歳記念作品『Canto Guerreiro』を発表。2024年、長年の音楽界への貢献が認められサンパウロ州議会より最高位の勲章（功労賞）を受章した。2025年はブラジルのソウル・ミュージックの帝王、チン・マイアの楽曲のカヴァー・アルバム『Canário do Reino』リリース。日本でも評価が高いマルチ・プレーヤー、アントニオ・ロウレイロの『Aldeia Coração』にゲスト参加、「Será」でフィーチャーされその印象的な歌声が大きな話題を集めた。



ギリエルミ・ネヴィス



Guilherme Neves / リオデジャネイロ州ニテロイ市生まれ。幼少～少年期をバイーア州サルヴァドール市で過ごし、1990年代初頭よりサンパウロ市在住。仕事の傍ら作曲・演奏活動を開始。ボサノヴァを基調とした温かみのあるオリジナル作が日本でも高い評価を得ている。2018年からオリジナル楽曲を中心とした4タイトルをリリース、2024年作の『Samba Tímido』では注目株の若手ギタリスト、ジョアン・カマレロが全面参加、ヘナート・ブラスも「Pedro e Naná」で歌っている。現在新作レコーディング中。



フレッチ・マルチンス



Fred Martins / リオデジャネイロ州ニテロイ市生まれのシンガー/作曲家/ギタリスト。ルミエール社のソングブック・シリーズの制作に採譜に関わるなどブラジル音楽の神髄を深く学びながら1992年にデビュー。1999年、自作曲「Novamente」をネイ・マトグロッソがカヴァー、テレビドラマの挿入歌となり大きな注目を集めた。これを機に作曲家としての評価が高まり、ゼリア・ダウンカン、マリア・ヒタ、アドリアーナ・カルカニョットなど多数の一流アーティストに楽曲提供した。実はジョアン・ジルベルト・フリークで、2009年にリリースした『Guanabara』は現代のボサノヴァ作品として関係者に高く評価された。近年はスペイン、ポルトガル、ブラジルを往復する生活をしており、2024年にはマルコス・スザーノとのデュオ作『Barbarizando Geral』をリリース、2025年にはカーボ・ヴェルデの女性シンガー、ナンシー・ヴィエイラと共作した『Esperança』で来日コンサートを成功させた。現在ジャキス・モレレンバウムとブラジル国内ツアー中。



マリオ・ジル



Mario Gil / ミナス・ジェライス州ジュイス・ヂ・フォーラ市生まれ。作曲家/シンガー/ギタリスト。1983年サンパウロに移住。1993年自主制作作品『Luz do Cais』リリース。1996年初の海外公演（ヨーロッパ18か所）。1998年名作詞家パウロ・セザル・ピニエイロと共作した『Contos do Mar』リリース、この作品で広く注目を集め、ヘナート・ブラス、モニカ・サルマーゾ、コンセイロ・ヂ・パウラ、カルミナ・ジュアレスといった若手アーティストに楽曲提供するようになる。2016年ヘナート・ブラス、プレーノ・フェイス、ホベルト・レオンとともに『Mar Aberto』に参加。スタジオも運営し、ナナ・カイミの遺作『Nana Tom e Vinícius』、ドリ・カイミの80歳記念作『Letra e Música』等を制作。ジョアン・ジルベルトの未発表ライブ作『Relicário - ao vivo no Sesc 1998』の発売記念ショウでは音楽監督を務めた。現在、パウロ・セザル・ピニエイロ、カピナン、クリスティーナ・サライバラとともに、未発表曲を収録したニュー・アルバムを制作中。

